

2000 年度事業方針

1. 情報センターとしての情報収集・発信機能の拡充

インターネットや情報誌などそれぞれの情報媒体を有効に活用し、情報センターとしての情報収集・発信機能を拡充するとともに、NPO・市民団体のインターネット活用のあり方を模索する。

2. 多様な主体との連携による事業運営

会員等がそれぞれの関心や得意分野に応じてアリスセンターの事業に参加・提案する機会を拡充し、NPO・市民団体、専門家、企業、行政等と連携した事業運営を試みることで、地域課題の解決に向けた多様な主体の連携の手法を模索する。

3. 地域課題を解決するための政策提言の充実

各事業の成果を、地域課題の解決やNPO・市民団体の社会環境整備に関する政策提言へとつなげる。

4. 活動支援事業の方向性の検討

98 年度、99 年度と実験的に行った活動支援事業の検証をもとに、県内の企業等と連携して市民活動を民間で支援できる財政的なしくみを模索する。同時にアリス基金の有効な活用法についても検討を行う。

5. 事業の評価方法の確立

99 年度に行った「アリスセンターの事業評価に関するアンケート」の結果を分析し、各事業を開始するにあたっての目標設定、事業の意義や採算性などの事業評価の指標等、事業の評価方法を検討する。

6. 事業の財政的健全性の確保

アリスセンター各事業の採算性を高めるとともに、アリスセンターにとって適切な収入バランスを検討し、財政的健全性の確保に努める。

2000 年度事業内容

1. まちづくりに関する相談・コンサルティング

市民団体やNPO、およびまちづくりに関心をもつ人を対象とした、電話及びアリスセンターへの来所を中心とした相談・コンサルティング。相談・コンサルティングには理事や事務局スタッフが中心に対応し、必要に応じて専門家に協力を依頼する。

1. 市民活動相談(無料)

市民グループ・団体に対する活動の進め方や専門家・他団体の紹介等の相談。

2. NPO法に関わる相談(正会員無料、その他1時間3,000円)

NPO法の内容やNPO法人格取得に関する相談。

3. ヒアリング・視察対応(1時間10,000円)

まちづくりや市民活動支援をすすめようとする行政・コンサルタント・企業等からの、ヒアリングや視察への対応。

4. 受託事業のノウハウに関する相談(1時間10,000円)

受託調査研究等のノウハウに関する相談。

5. 市民団体等に対するコンサルティング(受託事業)

市民団体等の運営や組織の見直し(法人化を含む)を支援するために、スタッフや専門家を派遣し、会議運営や実務等を助言するコンサルティングを行う。

・川崎で交流の場づくりや情報の発信を行う「ぐらす・かわさき」法人化支援等

2. まちづくりに関する情報収集と情報提供

市民団体やNPO、およびまちづくりに関心をもつ人を対象に、活動実践や政策提案を支援するための情報収集と情報提供を行う。

1. 「らびっと通信」の編集・発行

月2回会員に郵送している「らびっと通信」を、2001年1月よりインターネットメール・FAXで送付する新「らびっと通信」へと変更する。(ただし、メール・FAXともに使っていない会員には暫定的に郵送する) また、これまでの特集部分は、年4回発行する「たあとる通信」で扱い、新「らびっと通信」は、インターネットホームページと連動させ、速報性が必要とされる情報を中心に構成する。

2. 「たあとる通信」の編集・発行

2001年1月より、年4回、毎号テーマを設定し、そのテーマにそって、県内各地の地域課題や会員の行う活動の状況、制度等の解説、政策提案などを中心に構成する「たあとる通信」を発行する。

「たあとる通信」

仕様:A4版、2色刷、30～40ページ

発行時期:年4回(1月、4月、7月、10月)

発行部数:1,000部

頒価:1部500円(会員へは郵送)

3. インターネットホームページによる情報発信

1999年度に準備してきたホームページリニューアルを実施し、アリスセンターの情報センターとしての速報性を高めるとともに、発足以来らびっと通信等で蓄積してきた情報を検索や相互のリンクによってデータベースとして活用しやすく工夫し提供する。

新ホームページ(開設:2000年8月1日、一部準備中)

トップページ:お知らせ・トピックス・今日のアリス・サイト内キーワード検索

イベント情報:県内のイベント情報を掲載(月2回更新)

キーワード検索、開催時期による検索

過去10年間のイベント情報約6000件も掲載(団体や活動の経過を知るためのデータベースとしての活用)。

らびっと通信:バックナンバー一覧(特集タイトル一覧)

主な特集記事の全文紹介(ただし最新号を除く)

特集タイトルのカテゴリー検索・タイトルと全文のキーワード検索。

市民の主張:県内の市民活動団体が主張や活動内容を発信するWEBショーケース希望団体(ホームページをもっていない団体)を募る。

紛争地図:神奈川県内各地で起こっている問題に対する市民の活動を紛争マップで地域別に紹介(活動団体ホームページへのリンク含む)。

相談窓口:相談事業・講師派遣事業案内。

よくある質問(相談事例紹介)。

他団体相談窓口案内(各団体のホームページへのリンクを含む)。

関連団体:アリスセンターが事務局を担ってきた市民団体を紹介(各団体のホームページへのリンクを含む)。

リンク集:県内各種団体ホームページへのリンク集。

推薦図書:アリスセンター関連図書(発行図書、作成に関わった図書)の紹介。

メールでの購入申込み可能。

他団体関連図書(アリスに寄せられた他団体発行図書等)の紹

介。

エコ度チェック:93年に発行したリーフレット「地球を救う127の方法・日本版」からピックアップした項目によるエコロジー度をチェック。

アリスセンター:理事会報告(月1開催)、事務局日誌(月2更新)、事業内容、あゆみ(発足以来現在までの年度別主要事業一覧)、総会報告(前年度事業報告書・収支決算書・貸借対照表、当該年度の事業計画書・収支予算書、財産目録を掲載)、設立趣旨書・定款、理事・スタッフ紹介)。

地図・入会案内:アリス宛メール送信。

3. まちづくりに関する調査研究

地域における課題解決の手法やシステム、および市民団体やNPOがそれを担うための社会環境整備に関する調査研究、政策提言を行う。

1. 神奈川の地域課題調査

99年度実施した神奈川の地域課題調査の結果を報告書として発行し、報告会を開催する。また、調査結果をもとに地域課題を解決するための手法、システム、行政施策の評価、民間と行政の役割分担などの検討を深め政策提言につなげる。

2. 企業の地域社会への貢献とNPO(民間非営利組織)との関わりに関するアンケート調査(共同事業)

地域社会における企業とNPOの協働を進めるために、2000年11月の「ボランティア国際年シンポジウムin かながわ」の分科会「地域社会におけるNPOと企業の協働」の企画・運営を担当するNPO、企業関係団体等と共同で、県内の中小企業を対象としたアンケートを実施する。アンケートの成果をもとに、企業の本来業務を生かしたNPOとの協働の方策や、民間のNPO支援のあり方を検討する。

3. 自治体・企業・市民団体からの受託調査研究

(1)川崎市地球環境保全行動計画推進会議運営支援(川崎市からの受託)98年に策定された「川崎市地球環境保全行動計画」に基づいて、市民部会(公募)・事業者部会・学校部会・行政部会からなる地球環境保全行動計画推進会議の運営を支援する。

(2)その他、自治体・企業・市民団体等が行うまちづくりに関する調査研究を受託する。

4. まちづくりに関する講座、研修等の企画・運営

市民団体やNPO、およびまちづくりに関心をもつ人を対象に、活動実践や政策提案を支援するための講座、研修、フォーラム等の企画・運営を行う。

1. シンポジウム「NPOのインターネット活用」(仮称)

アリスセンターのホームページリニューアルのプロセスから得た、NPOのインターネット活用の可能性や課題を報告し、各分野の専門家等を交えた議論を行う。

開催時期:2001年1月～2月

2. ボランティア国際年シンポジウムin かながわ(受託事業)

ボランティア国際年(2001年)に向けて、経済企画庁と神奈川県主催、県内のNPO法人、市民団体、企業、支援機関等約30団体が実行委員会を構成して企画・運営を担うシンポジウム。アリスセンターは実行委員会事務局として経済企画庁から事業を受託する。また、実行委員団体として、「地域社会におけるNPOと企業の協働～企業の本業を生かした地域づくりとNPO支援」と「市民とNPOを元気にするインターネット」の2つの分科会の企画・運営を他団体・企業関係団体とともに担当する。

日時:2000年11月18日(土)9:30～17:30

会場:かながわ県民センター(横浜駅西口徒歩5分三越裏)

テーマ:NPOの可能性～市民と地域の自立をめざして

構成:オープニング、パネルディスカッション、セミナー、分科会

5. まちづくりに関する資料等の発行

市民団体やNPO、およびまちづくりに関心をもつ人を対象に、活動実践や政策提案を支援するための資料等を発行する。

1. 「(もっと)3神奈川」の編集(共同事業)

(もっと)3神奈川2000プロジェクトに参加し編集作業を進めてきた「(もっと)3神奈川」(県内の市民グループ・団体等の紹介)を発行する。

発行時期:2000年10月

仕様:A4 240ページ 表紙カラー、本文1色

販価:1,500円

3. アリスセンター活動報告書の作成・発行

らびっと通信創刊から現在まで約10年間(約230号)の記録をもとに、任意団体アリスセンター10年間の報告として発行する。

発行時期:2001年3月

6. まちづくりに関する講師等の派遣

市民団体やNPO、およびまちづくりに関心をもつ人を対象に、活動実践や政策提案を支援するために、理事、スタッフ、専門家を講師やファシリテーターとして派遣する

7. 市民団体等に対する支援・助成

1. 立ち上げ・ステップアップ支援事業

市民団体やNPOの立ち上げやステップアップを支援するために、アリスセンター事務局で、活動の事務局業務を担うなどの支援を行う。

(1)市民ネットワーク・相模川

相模川流域のネットワーク組織である市民ネットワーキング・相模川の事務局を担い支援する。

(2)ToCoBoN プロジェクト

99年度の「NPOの日米比較調査」の実施メンバーによる第2次プロジェクトを、事務局として支援する。行政との協働におけるNPOの役割や両者の関係のあり方を詳細に検討するために、米国サンフランシスコ湾岸地域のNPOスタッフと行政職員を日本に招聘し、日本のNPO関係者と交流の機会を設ける。

(3)かながわ森林エネルギー工房

間伐材等森林資源をエネルギーとして活用するために、2000年1月に発足したかながわ森林エネルギー工房の事務局を担い支援する。

(4)かながわNPO法研究会

地方税を中心とした優遇税制やNPOと行政の協働のあり方などの提案活動とNPO法人化や法人運営支援を行う。アリスセンターは事務局機能を分担して担い、連絡調整等の支援を行う。

(5)よこはま市民運営施設ネットワーク

横浜市内の市民運営施設に関わる市民が中心となり、各施設を使った連続研究会などを実施する。アリスセンターは連絡調整等の支援を行う。

(6)ファイバーリサイクルネットワーク

2000年3月に移転・独立したファイバーリサイクルネットワークの連絡事務等、必要に応じた支援を行う。

(7)市民セクターよこはま各種プロジェクトとの協働・支援

横浜市内のボランティア団体、NPO法人、その他法人・個人で構成する「市民セクターよこはま」の地域福祉に関わる各種プロジェクトとの協働・支援を検討し、実施する。

2. 活動支援事業(助成金)

(1)2000 年度活動支援事業の実施。

今年度の活動支援事業においては、地域課題の具体的な解決に向けた活動に焦点をしばり、資金面での支援にとどまらず総合的な支援を行う。また応募条件の明確さや選考・決定のプロセスの透明性を高める。

募集～決定期間:2000 年 10 月～2001 年 2 月

助成件数:2 件以内

助成総額 50 万円

(2)横浜ふね劇場をつくる会への継続的支援

99 年度助成対象の横浜ふね劇場をつくる会が行う船購入のための資金集めに対して、PR やイベント等の企画・運営を支援する。

(3)活動支援事業の今後の方向性の検討

活動支援事業を、市民活動を民間で財政的にも支援できるしくみへとつなげるために、県内企業等との連携方策を模索する。同時にアリス基金の有効な活用法についても検討を行う。

8. その他

1. アリスセンター事業評価のためのアンケートの分析

99 年度に実施したアリスセンター事業評価のためのアンケートの結果を分析し、アリスセンターの事業評価と今後の事業評価の手法を検討する。同時に、NPO の評価システム開発に向けて、各地のNPO や支援センターなどとの情報交換や連携を進める。

NPO 評価システム研究会

第3回フォーラム「評価でNPOの元気をつくる」2000 年 10 月 7 日(土)

アリスセンター事業評価のためのアンケートの結果を報告する。